

# OCL Information

## 「RAS 遺伝子変異解析」検査中止のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、委託先より、現行試薬の販売中止により平成 30 年 8 月 30 日をもって下記項目の検査受託を中止させていただきますので、取り急ぎご案内致します。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

### 対象項目

- 3627 RAS 遺伝子変異解析

### 最終受付日/代替項目

- 平成 30 年 8 月 30 日(木)

代替項目と致しまして、平成 30 年 8 月 10 日より受託可能な下記の RAS-BRAF 遺伝子変異解析をご利用下さい。

コード	3918
検査項目名	RAS-BRAF 遺伝子変異解析
検体量	未染スライド 5 枚(5~10 $\mu$ m 厚)*1 またはパラフィン切片 5 枚(5~10 $\mu$ m 厚)*1
保存	室温
検査方法	PCR-rSSO 法
基準値	変異陰性
所要日数	4~8 日
検査実施料	2,500 点+2,100 点*2, 3(「D004-2」悪性腫瘍組織検査[1]悪性腫瘍遺伝子検査)
判断料	34 点(尿・糞便等検査判断料)
備考	*1 HE 染色を行い腫瘍細胞が含まれていることが確認できた切片との連続切片(未染スライド)をご提出下さい。腫瘍細胞の比率が少ない場合、より多い検体を選びご提出下さい。長時間ホルマリン固定した組織や、ホルマリン固定前に室温放置が長い検体は DNA の断片化が著しく、解析不能となる場合があります。 *2 切除不能な進行・再発の大腸癌患者における治療方針の決定として、4,000 点を算定できます。(RAS 遺伝子検査、BRAF 遺伝子検査の 2 項目包括点数として)。 *3 早期大腸癌におけるリンチ症候群の除外を目的に本検査を実施した場合は、BRAF 遺伝子検査として 2,100 点のみ算定できます。RAS 遺伝子検査の所定点数を併せて算定することはできません。